

平成 30 年度第 1 回古賀市スポーツ推進審議会 会議録
(要約筆記)

【会議の名称】 平成 30 年度第 1 回古賀市スポーツ推進審議会

【日時・場所】 平成 30 年 8 月 6 日(月) 18:30 ～ 20:30
古賀市役所第 2 庁舎 2 階中会議室

【主な議題】

1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 教育長のあいさつ
4. 審議会の取扱いについての説明
5. 自己紹介
6. 会長副会長の選出
7. 会長のあいさつ
8. 議事録署名委員の指名
9. 概要説明及び議事
 - (1) 第 2 次スポーツ振興基本計画について(諮問)
 - (2) 第 1 次古賀市スポーツ振興基本計画(成果と課題)について
 - (3) 第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画骨子(案)について
 - (4) 部会形式について
10. その他
11. 閉会

【傍聴者数】 0 人

【出席委員等の氏名】

委 員: 木下忠委員、吉永春男委員、本多壮太郎委員、山内光春委員、井浦政義委員、柴田敬子委員
石田啓委員、原尻敏広委員、樋口武史委員、吉田直美委員、橋本洋委員

長谷川清孝教育長、青谷昇教育部長

事務局 生涯学習推進課 中村由果課長、吉永ゆかりスポーツ振興係長、荒川登志子主事、
小西渚主任主事、高井恭平主事、草道宥哉主事

【欠席委員の氏名】 石田英治委員、薄秀治委員、大森睦子委員、齋藤光範委員

【庶務担当部署名】 生涯学習推進課

【委員に配布した資料の名称】

- ・古賀市スポーツ推進審議会条例
- ・古賀市情報公開条例(抄)
- ・傍聴要領(案)
- ・第 1 次古賀市スポーツ振興基本計画(成果と課題)
- ・第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画骨子(案)
- ・古賀市スポーツ推進審議会スケジュール(案)
- ・平成 30 年度第 1 回スポーツ推進審議会次第
- ・席次表
- ・スポーツ等に関するアンケート調査集計結果

【会議の内容】

1. 開会
2. 委嘱書交付

3.教育長あいさつ

4.審議会の取扱いについての説明

5.自己紹介

6.会長副会長の選出

7.会長あいさつ

8.議事録署名委員の指名

(会長)

- ・議事録署名委員については井浦委員にお願いしたい。

9.概要説明及び議事

(会長)

- ・それでは、審議に入る。まずは、第2次スポーツ振興基本計画について(諮問)事務局より説明を願う。

(教育長)

- ・諮問第1号について朗読する。
- ・第2次古賀市スポーツ振興基本計画の策定について(諮問)古賀市教育委員会の事務委任等に関する規則(平成27年教育委員会規則第6号)第2条第1項第14号の規定により、下記のとおり諮問する。
- ・諮問事項、第2次古賀市スポーツ振興基本計画の策定について。諮問の理由、古賀市スポーツ振興基本計画の計画期間が平成30年度末で終了するにあたり、これまでの計画期間の評価、課題を整理し、第2次古賀市スポーツ振興基本計画の策定に向けた審議を行うため。現在、スポーツを取り巻く環境は大きく変容しており、健康増進や生きがいづくり、地域活性化等スポーツを通じたまちづくりへの展開が求められている。上記の様な状況をふまえ、今後10年の本市におけるスポーツ振興の目標を示し、実効性の有る計画を策定することから、諮問を行うもの。

(会長)

- ・第1次古賀市スポーツ振興基本計画(成果と課題)について事務局より説明を願う。

(事務局)

- ・平成21年～平成30年度までの計画期間である第1次計画は「スポーツで市民みんなが、明るく元気に交流しあう都市 しがが」を基本理念に掲げ、国・県・市等の諸計画と連動しつつ、到達目標である各校区コミュニティに「元気な人づくり」をめざして体を動かす「きっかけ」を提供するスポーツの機会をつくり、自立した生涯スポーツ社会の実現へ向け、取組の推進を行ってきた。資料にはこれまでの取組内容及び成果・課題を記載している。
- ・子どもの体力向上について、体力向上推進会議や部活動体験等を実施し、教職員間の情報交換や学校と社会教育の連携を図ることができた。
- ・低迷していた体力テストの結果は改善されている。また元気アップチャレンジについては、他団体との連携が推進され、子どもたちへのスポーツ機会の提供ができたと考える。
- ・指導者研修については、体育協会を中心に実施されており、内容についても充実してきている。しかし人材バンク制度構築や人材活用については、課題が残る。
- ・幼児における運動については、鹿部保育所での体力向上プログラムの充実や体力測定実施の動機付け、また新たに5歳児保護者を対象としたアンケート調査の実施等が成果として挙げられる。
- ・スポーツ少年団については、これまで体育協会と検討を実施してきたが、古賀市独自のジュニアスポーツ環境モデルの構築へ向けた検討をすべきと考えている。
- ・成人のスポーツ実施率向上については、週1回のスポーツ実施率は36.9%(H24)から58.4%(H29)に上昇した。
- ・「市民健康スポーツの日」等の事業において、ターゲットやニーズを明確化し、PDCAサイクルの事業運営スタイルが確立されつつある。
- ・総合型地域スポーツクラブについては、小学校区での設立を検討したが、設立には至らなかったため、中学校区や市全域でのクラブ設立の検討を開始したい。今後体育協会やスポーツ推進委員が連携を図り、設置

の検討を開始したい。

- ・種目の中で一番実施者数が多いウォーキングについては、定期的な大会開催や人材育成事業の展開等、充実が図られており、健康づくりや介護予防部門との連携も図られている。
- ・体育協会を中心に分館や地域へのアプローチとして、定期的な大会の実施を行っていることや競技スポーツについては、福岡県民体育大会への出場支援を行っており、総合成績も上昇している。
- ・障がい者スポーツの推進については、スポーツ推進委員が中心となり、教室の開催や体験会を行ってきた。
- ・全体的に事業改善は図られてきているが、無関心層へのアプローチやニーズに合わせた事業展開は課題として捉えており、地域づくりや地域活性化に向けた取組についても課題と認識している。
- ・元気な人づくりの支援は、学校の社会体育への開放を新たに古賀中学校・古賀東中学校で実施した。今後は県立学校等の開放についても協議を開始している。
- ・ターゲットに合わせた広報活動として、インターネットや SNS を活用した情報発信に着手した。行事予定表 6 月号では体育協会の各加盟団体等の紹介も行っている。
- ・市民の施設利用の利便性向上のため、インターネット予約システムを平成 28 年度から導入した。
- ・市民のスポーツ活動支援のため、レクリエーション備品の定期的な購入や備品を活用したスポーツ推進委員による出前講座の実施を行ってきた。
- ・アンケート調査結果については、平成 29 年度に 18 歳以上の 1,500 人、小学 5 年生、中学 2 年生、市内保育所に通う 5 歳児保護者を対象にアンケート調査を実施した。
- ・成人は、回収率 35%、男女比 4:6、運動実施の潜在的ニーズ（週 1 回以上運動をしたいと考えている人）は 76.8%だった。
- ・スポーツ活動を「健康づくりや体力づくり」として捉えている割合が高く、健康意識が高いことがうかがえる。
- ・実施種目はウォーキングが割合として高く、ウォークイベントについても親子対象、ウォークラリー、リズムがキーワードとして挙げられた。
- ・スポーツ行事の認知度や参加率が低いことが課題である。
- ・スポーツ環境としては「自宅近くでのウォーキング」の割合が多く、施設ニーズとしては「使用料が安い」、「家に近い」等が挙げられた。
- ・5 歳児保護者の中では、子どもに運動をしてほしいと考えている保護者は 9 割で、運動やスポーツから「心身の発育や発達を身につけてほしい」と考えている保護者の割合が高かった。
- ・子どもに運動をさせる条件として、「気軽に参加できる教室」や「近くの施設が充実していれば」という回答が多かった。また保育園終了後にその場でスポーツができる環境があれば等の意見も挙げられている。
- ・情報収集は「インターネット」「口コミ」「広報誌」の順となっており、5 歳児保護者への広報ツールとしてインターネットの活用が見込まれる。
- ・運動機会を増やすために「外遊びの習慣化」が重要であると捉えている保護者が多かった。
- ・小学 5 年生では、体育授業が楽しいと答えた割合は H24 調査よりも 2.7 ポイント上昇している一方、課外での外遊びや運動は 2.9 ポイント減少しており、その理由として運動以外の習い事やゲーム、勉強等が挙げられた。
- ・スポーツ団体や習い事は上昇傾向にあり、前回調査より 3.7 ポイント上昇しており、実施内容については、これまで実施者が少なかったダンス・バレエや空手が上位の種目となった。
- ・中学 2 年生では、体育の授業が楽しいと答えた割合は H24 調査よりも 9.2 ポイント上昇しているが、部活動やクラブチームへの参加は 1.6 ポイント減少している。
- ・課外での運動実施は 66.8%であり、部活動、スポーツクラブが大半を占めた。一方で実施していない生徒については、宿題や塾、家で遊ぶ、場所がないと答えた割合が高かった。

(会長)

- ・それでは、第 1 次古賀市スポーツ振興基本計画(成果と課題)について質問・意見があればお願いします。

(委員)

- ・アンケート調査はどのように行われたのか。
- ・アンケート調査結果(概要)について、「古賀市の成人スポーツ実施率」が平成 24 年度の結果より増えている。先ほど高齢者の数値が大きく影響をしていると説明があったが、年代別の実施率は分からないのか。
- ・後期アクションプランにある「運動・スポーツに関する調査結果」と比較できる資料はないのか。

(事務局)

- ・前回行われたアンケート調査結果に加えて、市独自のアンケートを行った。小学校区ごとに、年代別に無作為抽出法で行った。年代別の実施率等については、次回お示しする。

(委員)

- ・アンケート調査結果(概要)について、9 ページ「スポーツ団体や習い事への参加は増加傾向」にあるようだが、10 ページでは、「運動部活動やスポーツチーム参加は微減」となっている。理由は何が考えられるか。
- ・他の市町村では、9 割の子どもが部活動に所属しているというデータもある。

(事務局)

- ・文化部等での活動も増えていることから、微減になったと考えている。他の市町村では、9 割の中には文化部も入っているのではないか。

(委員)

- ・予防健診課で行う、「健康づくり」と共通するところも多い。スポーツ実施率の数値も伸びており、連携して行って来た成果が見えてきている部分ではないかと思う。
- ・「スポーツ無関心層へのアプローチ」は、健康づくりでも共通の課題である。これからも連携してさまざまな切り口からアプローチする必要があると思う。

(会長)

- ・子どもの体力向上の課題に「スポーツ少年団の設置検討及びジュニアスポーツ環境の把握や支援に向けた協議」とある。
- ・スポーツ少年団は、戦後近代化が急速に進み、子ども達の体力低下や地域社会での子ども集団の消失などの課題が見えてくる中で、子ども達に地域を基盤としたスポーツの場を提供することにより、正しいスポーツを計画的、継続的に実施し、それによって子ども達を健全に育成しようという考えに基づき創設された。
- ・スポーツ少年団は、競技スポーツだけでなくさまざまなスポーツが体験できるものである。新しいあり方を模索しながら、古賀市独自の子どもの体力向上の取組の検討をして欲しい。

(委員)

- ・スポーツを通じて「地域の活性化」についての記載はないのか。

(事務局)

- ・地域づくりや地域活性化に向けた取組についても課題と認識している。次の第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画(案)でも盛り込みたいと考えている。

(会長)

- ・それでは、第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画(案)について事務局より説明を願う。

(事務局)

- ・基本理念は第 1 次計画を踏襲。キーメッセージとして、「スポーツで元気な人づくり」「スポーツで元気なまちづくり」を掲げ、子ども、成人、環境、地域をメインテーマとしている。
- ・メインテーマごとにキーワードを考えており、子どもは「からだを動かす習慣づくりで生きる力を育てる」成人は、「Enjoy Sports! Enjoy Life!」環境と地域は、「スポーツを『する』『みる』『ささえる』コミュニティづくり」である。
- ・それぞれの取組分野、現状の課題、取組イメージを記載している。「地域の活性化」については、「地域」のテーマに記載していきたいと考えている。委員の皆様には、各部会において取組等の意見をいただきたいと考えている。

(会長)

- ・それでは、第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画(骨子案)について質問・意見があればお願いする。

(委員)

- ・2020 年に東京オリンピック・パラリンピック。2019 年にはラグビーワールドカップが行われる。これからスポーツを通じてそれぞれの地域で盛り上がりが見えてくると思う。
- ・今後 10 年間の古賀市スポーツ振興基本計画に、どのように盛り込むのか。

(事務局)

- ・前回の東京オリンピックの時も、オリンピックをきっかけにスポーツを知ったり、見たり、関心を持つきっかけとなった方が多かったと思う。古賀市でも、その頃から地域の運動会などが行われている場所もある。
- ・第 2 次古賀市スポーツ振興基本計画でも「地域」部会の中で協議され、盛り込めたらと考えている。

(委員)

・第1次古賀市スポーツ振興基本計画の全体的な総括は行われるのか。

(事務局)

・総括を実施したらすぐに報告したいと考えている。

(委員)

・第1次古賀市スポーツ振興基本計画の時とは、スポーツに関する状況が大きく変わってきていると思う。スポーツに関する負の部分(体罰など)についても計画に盛り込むのか。

(事務局)

・負の部分については、「ジュニアスポーツ団体育成及び指導者の育成」に関わる部分で盛り込めるのではないかと考えている。今後、盛り込むかどうかも含めて審議をお願いしたい。

(委員)

・スポーツ行政として、2020年東京オリンピック・パラリンピックや新しいスポーツについての視点を盛り込んで欲しい。
・新しい目玉となるものも盛り込んで欲しい。東京マラソンや福岡マラソン、北九州マラソンなどスポーツを通じて都市が盛り上がって定着もしている。古賀市でもスポーツと通じたまちづくりとして、市民が分かりやすいものがあった方がいいと思う。市民が誇れる「我がまちのスポーツ」のようなものがあるといいと思う。

(会長)

・昭和50年代ゲートボールが人気で、今では地域でグラウンドゴルフをしている古賀市民は多い。
・私も地域でスポーツを行いたいと思って声かけをしたが、人を集めることはなかなか難しい。しかし、これからスポーツを地域で実施することは、とても大切なことになると思う。小さなところからかもしれないが、地域から始めることによって、いつかは市全体のものになって行けたらと思う。
・体育協会で健康スポーツの日を行っているが、まだまだ認知度は低い。福津市の花火大会のような、まちにざわめきを起こすような、スポーツでまちおこしを行って、古賀市を誇れる何かにつなげられたらと思う。

(委員)

・玄界高校で、オランダのトップアスリートと接する機会があった。オランダでは施設や設備が充実しており、そこには引退した高齢者など支える人が配置され、子ども達との交流もあった。
・古賀市にも、そこに行けば誰でもさまざまなスポーツをすることができる「スポーツの拠点」のような場所があればと思う。

(委員)

・古賀市には市民プールがない。福岡市には区単位で市民プールがあった。
・クロスパルこがのプールを子ども達が利用するには制限がある。(小学生は日曜10時から15時、夏休みは全日10時から12時)いつでも行ける市民プールがあればいいと思う。

(委員)

・子ども達を見ていると、外遊びをするのにも大人がきっかけを作らないとしない子どもが多い。
・無関心層へは「しかけ・きっかけ」が大切だと思う。保護者や子ども、家族で行くとスポーツができる場所や、保育園終了後に園でできるスポーツなどつながりを持たせることが必要だと思う。
・スポーツは多様化している。無関心層へアピールできる施策が必要だと思う。

(会長)

・(4)部会形式についてについて事務局より説明をお願いする。

(事務局)

・古賀市スポーツ推進審議会条例施行規則第5条より、審議会に専門部会を置くことができることとなっている。「子ども」「地域」「環境」「成人」の専門部会を置き計画の策定を進めていきたいと思う。
・各部会の構成委員については、事務局案として別紙名簿のとおりとさせていただきたいと思う。ご審議のほどよろしくお願ひします。

(会長)

・部会形式についてについて質問・意見があればお願いする。
・それでは、名簿のとおり専門部会としたいと思う。それぞれの部会の「部会長」については、古賀市スポーツ推進審

議会条例施行規則第 5 条より会長が指名できることとなっている。「子ども部会は井浦委員」「地域部会は橋本委員」「環境部会は吉永委員」「成人部会は原尻委員」としたいと考えているがどうか。

- ・次回より各部会に分かれて、審議をすすめたいと思う。よろしく願います。
- ・最後に、10. その他について、事務局より説明願います。

(事務局)

- ・次回の審議会は、8 月 31 日に開催することとしたい。どうぞよろしく願います。

(会長)

- ・以上で、第 1 回古賀市スポーツ推進審議会の審議を終了する。ご協力ありがとうございました。